



伸は びだ 伸し びで

2008. 9. 19

園庭の芝生化に取り組んでいた境港市こども支援センター(同市竹内町)で十七日、芝生化完成イベントがあった。青空の下、センターを利用する親子たちが青々とした芝生の上ではだしになってボール遊びや体操などを伸び伸びと楽しんだ。芝生化は転んでもけががしにくくはだしで遊べ、強風時でも砂が飛散しないなどのメリットがあるといわれる。市は市内の保育所での芝生化を青々とした芝生の上で、伸び伸びと手遊びを楽しむ参加者

芝生完成、親子でにぎわう 境港市こども支援センター

検討しており、本年度、市の子育て支援拠点施設である同センターの園庭三百三十平方メートルで芝生化を試行的に実施。専門家の指導を受け、四月下旬から市職員や子育て施設関係者らが育苗から整地、芝苗の植え付けまで一連の作業に携わった。

この日のイベントには親子三十組と市内の保育所関係者ら約八十人が参加。芝生の上に放たれたコオロギを捕まえたり、ボールで遊んだり弁当を食べるなどして芝生の良さを体感していた。

一歳十一月の長女、蒼ちゃんと参加した同市竹内町、主婦、中村智恵さん(二六)は「まだしっかり歩けない子でも安心して歩かせることができているですね。はだしで遊べて楽しそう」と、芝生化を歓迎していた。